

個別事業費	3,235 千円
交付金額	2,183 千円

地域の実情と課題

当市でのDV相談件数は増加傾向にあったが、令和3年度より減少に転じたことから、相談したくてもできない女性が潜在していると思われる。

事業の特徴

- ・配偶者からの暴力をはじめ、女性に関する様々な悩みや相談に対応する。相談日を増やすためNPO法人へ業務委託する。
- ・市内小中学校へ生理用品の配布

事業の効果

- ・NPO法人へ女性相談業務を委託したことにより、これまで手の届きにくかった様々な孤独・孤立し困難を抱えた女性の相談に対応することができた。
- ・相談件数693件と目標値である390件を大きく上回ることができた。
- ・市内の小中学校への生理用品配布を通して、不安を抱えている子どもの生活状況の把握が可能となり、相談するきっかけ作りを行うことができた。

目的・目標

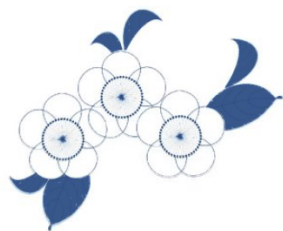
- ・女性相談事業における相談対応件数
目標値：令和7年3月末(390件)実績：693件
- ・女性相談者や市内の小中学生への生理用品配布と適切な支援機関へ繋ぐ仕組みづくりを行う。

連携団体

- ・伊万里警察署
- ・伊万里市福祉事務所
- ・伊万里市社会福祉協議会
- ・伊万里市内小中学校
- ・佐賀県DV総合対策センターなど

今後の課題

- ・女性相談窓口のさらなる周知が必要。
- ・相談員のスキルアップを図る。(法律の改正等情報のアップデート、多様化する女性の悩みに対応できるスキル)
- ・教育関連施設にとどまらず、生理用品の配布先の拡充が必要。
- ・悩みを持つ女性がもっと気軽に相談でき、人や社会との「つながり」を構築できる「女性の居場所」が必要。



業務委託

伊万里市
企画政策課
男女協働推進係

地域女性活躍推進交付金

委託先:NPO 法人 こすもす村

女性相談

佐賀県の相談員研修をはじめ
様々な研修会への参加により、
相談員の育成およびスキルアッ
プを図るとともに、関係機関と連
携し多様な女性相談に対応する。

相談曜日:火曜・木曜

市内小中学校支援

＊生理の貧困 対策

《生理用品の配布》

保健室等での配布により生徒の
環境を知りヤングケアラー・いじ
め・ネグレクト等の把握に努める。

女性相談の日数を週3日(月・水・金)から業務委託により週5日と増やすことで、
多くの相談者の対応が可能となる。また、市内各コミュニティセンター及び駅等、
公共施設女性トイレに女性相談の連絡先を記したカードを設置し周知を図る。

伊万里市役所
各部署及び
連携団体と解決
を図る

＊連携団体＊

伊万里市福祉事務所
伊万里市社会福祉協議会
佐賀県 DV 総合対策センター
伊万里警察署
伊万里市内小中学校
など

